

電気代 全社値上げ

5月再エネ賦課金で

東京電力など電力大手10社は28日、5月の電気料金値上がりすると発表しました。再生可能エネルギーでつくった電気の買い取り費用に充てるため、料金に上乗せされている「賦課金」の引き上げを受けた措置。標準家庭では前月比44.1〜57.9円の値上がりとなります。

都市ガス大手4社も都市ガスは液化天然ガス(LNG)の価格上昇により、東京ガスなど大手4社で35〜47円値上がりします。

一方、ガソリン補助金は当面継続します。政府は石油元売り会社への補助金支給により、レギュラーガソリン1リットルの全国平均価格を17.5円程度に抑制しています。斎藤氏は補助金について「いつまでも続けるものではない」とした一方、終了時期については「示せない」と語りました。

5月で補助終了

経産相

ります。

2024年度の賦課金単価は1割時当たり3.49円と、前年度比2.09円増加。5月は石炭や原油の価格下落が料金押し下げ要因とな

るものの、賦課金の増加で打ち消されず。中部電力の料金は前月比57.9円増の7963円、東電は561円増の8137円となり、東京ガスなど大手4社で35〜47円値上がりします。

5月の電気・ガスの標準家庭料金

【電力】月額料金	前月比
北海道	8,757 441
東北	8,036 543
関東	8,137 561
中部	7,963 579
関西	6,988 457
中国	6,754 543
四国	7,658 514
九州	7,721 511
沖縄	6,676 520
【ガス】	
東京	5,671 43
大阪	6,224 46
東邦	6,841 47
西部	6,437 35

(注)単位円。月間使用量は、北海道電と北陸電は230、九州電は250、その他は260(いずれも7時)。東京ガスと大阪ガスは30、東邦ガスは31、西部ガスは23(いずれも立方尺)

電気・ガス補助金の内容

【4月使用分まで】

▷電気(家庭用)	3.5円
▷電気(企業用)	1.8円
▷都市ガス	15円

【5月使用分】

▷電気(家庭用)	1.8円
▷電気(企業用)	0.9円
▷都市ガス	7.5円

【それ以降】
いったん終了し、価格急騰時には対応

(注)補助金は電気が1キロワット当たり、ガスが1立方尺当たり

います。電気料金は現在、

家庭用で1割時当たり3.5円、都市ガスに対しては

1立方尺当たり15円をそれぞれ補助しています。

これらは5月分で支援を

半分程度に縮小した後を終

了します。東京電力の標準

家庭(使用量260割時)

では、終了により現在と比

べて月910円負担が増し

ます。

一方、ガソリン補助金は

当面継続します。政府は石

油元売り会社への補助金支

給により、レギュラーガソ

リン1リットルの全国平均価格を

17.5円程度に抑制してい

ます。斎藤氏は補助金につ

いて「いつまでも続けるも

のではない」とした一方、

終了時期については「示せ

ない」と語りました。